



令和6年度後期（10月～3月）

9月13日
締切

授業公開講座

札幌校

XA-01 人文科学入門Ⅳ（教育統計）

講師：戸田 弘二

日時：10月7日、17日、21日、28日、11月6日、11日、18日、25日、12月2日、9日、16日、23日、1月6日、16日、20日の10:40～12:10

会場：札幌校講義室

定員：6名

対象者：ルート計算のできる電卓の操作ができる人。関数電卓が望ましい。

講座の内容：

教育統計の基本的な知識と技能を学び、教育や研究活動の道具としての統計の使い方を身につける。

この講義では教育や研究活動に必要な基礎的な統計解析の手法を平易に解説します。また、解説した統計量の意味を体験的に理解してもらうために、電卓を用いて実際に計算してみる、計算した結果を文章に書いてみる等の実習も行います。本講義は教育統計の入門的な内容ですので高度な数学の知識は必要ありませんが、電卓を用いますので電卓の使い方は事前に理解しておいて下さい。

注意事項：1月27日（月）は期末試験日です。実力を試したい方はこの日も参加していただいてもかまいません。

使用テキスト：自作の資料をSNS（BAND）で適宜配付します。

初回にこの授業のBANDに参加して入手して下さい。

札幌校

XA-02 教育相談の理論と方法

講師：平野 直己

日時：10月3日、10日、17日、24日、31日、11月7日、14日、21日、28日、12月5日、12日、19日、26日、1月9日、23日の9:00～10:30

定員：3名

会場：札幌校講義室

講座の内容：

授業名の通り、教育相談の理論と方法についての入門的な内容です。

前半は、①教育相談とは何か？ ②子どもの心身の発達と教育相談 ③コミュニケーションとして教育相談というテーマを3回から4回を使って解説していきます。

後半は、各論的な内容として④不登校と教育相談、⑤いじめと教育相談、⑥親との協働としての教育相談などを扱う予定です。

使用テキスト：益子洋人・平野直己編著 あつまれ！みんなで取り組む教育相談（明石書店、2022年）

札幌校

XA-03 生活の科学

講師：大矢 智

日時：10月3日、10日、17日、24日、31日、11月7日、14日、21日、28日、12月5日、12日、19日、26日、1月9日の10:40～12:10

会場：札幌校講義室

定員：5名

講座の内容：

日本人が、どのように木材を上手に活用してきたのか、森林の働きと人の暮らしの関係などについて述べる。木材は樹種によって多様な性質を持つ。日本は「木の文化」と言われるが、それは日本人が、それぞれの木材の性質に応じて、上手に使ってきたことが一因であることを述べる。また、森林はさまざまな面で、我々の生活に恩恵をもたらしていることについても述べる。また、紙は大変優れた筆記材料であるが、その歴史と発展についても述べる。

札幌校

XA-04 化学概論 II (化学と地球の環境)

講師：菅 正彦

日時：10月2日、9日、16日、23日、30日、11月13日、20日、27日、12月4日、11日、18日、25日、1月8日、15日、22日の9:00～10:30 (全15回)

会場：オンデマンド配信または札幌校講義室

定員：10名

対象者：高等学校の化学を履修している方、あるいはそれと同程度の化学の知識を有する方。
インターネット経由で本授業のPDFファイルを見て、音声ファイルを聴き、電子メールで連絡を取れる方。

講座の内容：

地球環境の化学の基礎的概念。予習(あらかじめ配布するPDFファイルを読み、音声を聴く)が必須です。宇宙の中の地球(宇宙と地球のなりたち、地球環境の創造)、地球のすがたと環境問題(文明と地球環境、大気と環境問題、水と環境問題、土壌と環境問題)。

注意事項：オンデマンド授業の場合には授業を視聴した上で課題を提出することで出席とみなす。

使用テキスト：多賀光彦・那須淑子・菅 正彦共著 (ISBN 978-4-7827-0360-1)
地球のすがたと環境－人間活動とのかかわり(三共出版、1997年)

旭川校

XB-01 日本語学研究法

講師：西内 沙恵

日時：10月2日、9日、16日、23日、30日、11月13日、20日、27日、12月4日、11日、18日、25日、1月8日、15日、22日の14:40～16:10 (全15回)

会場：旭川校講義室

定員：10名

対象者：高校生以上の方。

講座の内容：

「私 はノが 学生です」どう違うのでしょうか。日本語学を学び、ことばの仕組みについて考えてみませんか。本講座を北海道教育大学旭川校において対面で実施します。皆さんの母語である日本語の仕組みを、音声・文字・文法・語彙・談話から捉え直します。日本語学という学問分野の概要と基礎知識を学び、日本語を客観的に説明してみませんか。

注意事項：受講することになった方には後日会場情報をメールでご案内します。

旭川校

XB-02 社会学演習IV

講師：角 一典

日時：10月7日、15日、21日、28日、11月6日、11日、18日、25日、12月2日、9日、16日、23日、1月6日、16日、20日の14:40～16:10 (全15回)

会場：旭川校S306教室

定員：3名

講座の内容：社会科学の文献を輪読し、現代社会における諸問題について考える

旭川校

XB-03 社会調査論

講師：角 一典

日時：10月1日、8日、22日、29日、11月5日、12日、19日、26日、12月3日、10日、17日、24日、1月7日、14日、21日の14:40～16:10 (全15回)

会場：旭川校P203教室(予定)

定員：5名

講座の内容：社会調査の意義および基礎を学ぶ

旭川校

XB-04 現代と社会

講師：角 一典

日時：10月1日、8日、22日、29日、11月5日、12日、19日、26日、12月3日、10日、17日、24日、
1月7日、14日、21日の9:00～10:30（全15回）

会場：旭川校講義室

定員：5名

講座の内容：食糧問題およびエネルギー問題について、社会科学の観点から考える

釧路校

XC-01 特別支援教育

講師：戸田 竜也

日時：10月2日、9日、16日、23日、30日、11月13日、20日、27日、12月4日、11日、18日、25日、
1月8日、15日、22日の10:40～12:10

定員：5名

講座の内容：

小学校・中学校・高等学校の現状から、特別支援教育の在り方を検討し、インクルーシブ教育を展開する。インクルーシブ教育の基本的な理解を深めることをねらいとして、通常学級に在籍する「特別な教育的ニーズ」をもつ子どもの学習上、生活上の困難さを体験的に学びつつ理解を深め、支援のあり方について論じる。とりわけ、このような子どもの理解のためには、そもそも「発達とは何か」「障害とは何か」「生活とは何か」ということを深めていかなければならない。我々の社会が持つこれまでの発達観や障害観を批判的に検討しながら、「特別な教育的ニーズをもつ子どもの状態を理解する」ための視点の獲得をめざす。

使用テキスト：市橋博子・戸田竜也共著 集団による学びと個の発達をささえる特別支援教育入門（大月書店）

函館校

XD-01 児童・家庭福祉論

講師：中村 直樹

日時：10月7日、15日、21日、28日、11月6日、11日、18日、25日、12月2日、9日、16日、23日、
1月6日、16日、20日の16:20～17:50

定員：5名

講座の内容：

子どもと家庭のさまざまな福祉課題の理解とその支援について学びます。

児童家庭福祉論を通して、児童そのものの理解と人間としての発達に必要な児童期のあるべき生育環境（家庭、学校、地域、社会等）について考えます。また、子ども・子育て支援、子どもの貧困、児童虐待・DVなど児童・家庭にかかわる様々な問題とその支援について学びます。

注意事項：各回の講義資料はデータにて配付しますので、印刷物での配付はありません。

函館校

XD-02 第二言語習得論

講師：菅原 健太

日時：10月3日、10日、17日、24日、31日、11月7日、14日、21日、28日、12月5日、12日、19日、1月9日
の14:40～16:10

定員：5名

講座の内容：

第二言語を学ぶ過程で起こる諸問題と可能性について、近年の第二言語習得研究を学び、議論する。

グローバル化が加速する中、我々が学校の内外で母語の次に学ぶ言語（第二言語）を話す人々に出会う機会は身近なものになっている。この授業では、人々が第二言語を学ぶ過程や、その言語を使用する中で起こる諸問題と可能性について、近年の第二言語習得研究の動向を学び、議論する。特に、様々な場面で異なる特徴やビジョンを持つ人々がどんな問題に直面しながら、第二言語を話す自己を形成していくのか、また、こうした人々の活動が学校・組織、または社会全体をどのように変化させていくのか考察する（なお、本科目は日本語教員養成プログラム履修上の必修科目である）。